

委員会提出議案第2号

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書

標記の議案を次のとおり、桑名市議会会議規則第13条第2項の規定により提出します。

令和元年10月2日 提出

提出者 教育福祉委員会委員長 辻内裕也

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書

子どもたちの主体的で協同的な「豊かな学び」を実現するためには、教職員定数の改善が、教育環境整備のなかで最も重要である。

しかしながら、少人数学級によるきめ細やかで質の高い教育を実現するための学級編成については、1クラス当たりの児童生徒数が小学校21人、中学校23人であるのに対し、日本の1クラス当たりの児童生徒数は、小学校27人、中学校32人、三重県は、小学校25.1人、中学校30.2人と経済協力開発機構（OECD）加盟国の平均を大きく上回っている。（2018年）

また、近年では個別の支援を必要とする児童生徒や外国人児童生徒が増加し、複雑化・多様化する教育諸課題が教職員に集中することが問題視されるなか、児童・生徒一人ひとりと向き合うためのさらなる環境整備が必要である。

このような中、教育予算を拡充し、教職員定数の充実も含めた教育条件の整備を進めていくことが、山積する教育課題の解決を図り、子どもたち一人ひとりを大切にし、子どもたちの豊かな学びを保障することに繋がると考える。

よって、国において、教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を図られるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年10月2日

桑名市議会

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
総務大臣 様
財務大臣 様
文部科学大臣 様